

WORLD FESTIVAL 2006

「地球はひとつ。その中にたくさんの人々。もっと知りたい! もっと仲良く!」

市民に国際交流の場を提供し、異国文化に楽しくふれてもらうことを目的としたイベントです。4回目となった今年は、3人の女性陣が企画・運営に活躍してくれました。

伊藤尚美さん

企画には自信があったけど、「人は来てくれるだろうか」と不安もありました。子ども中心だった生活も、こういうイベントに参加すると意識が変わり、自分自身を出すことができます。



渡辺智恵子さん

初めは、まったく知らないスタッフに当日会ってお願いするのに抵抗がありましたが、実際やってみるととても楽しかった。最後まで多くのお客さんいてくれて嬉しかったです!

今年も巨大太巻き作りに挑戦しました。

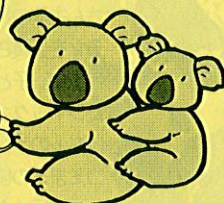
川尻葉子さん

主婦をしていると何もできない...と思いがちですが、ストレス発散にもなるし、社会人に戻ったような気分が楽しめました。「絵本のテント」に、お客さんが飛び入りで本を読んでくださったときの会場の一体感が良かったです。



「絵本のテント」は、子どもたちだけではなく、大人にも人気がありました。みんな理解できたかな?

当協会では、ボランティアスタッフを募集しています! 私たちと、ぜひ一緒に地域を盛り上げていきませんか?



国際交流は、市民が主管です。

YASUSHI HASHIMOTO

この人、この石狩市で、国際交流が活発に行われていることを世界に放つという言葉があります。人口6万1千人のこの石狩市で、国際交流が活発に行われていることを世界に放つという

言葉があります。人口6万1千人のこの石狩市で、国際交流が活発に行われていることを世界に放つという言葉があります。人口6万1千人のこの石狩市で、国際交流が活発に行われていることを世界に放つという

一人から始まります。カナダ・ロシア・中国と姉妹都市交流をしてきた先人の業績を大事にし、守り、継続して行く。今年、中国から2人の高校留学生が来石し、アメリカからもNGOワールドローニング(理事長はノーベル平和賞受賞のマイタ女史)に派遣された高校生もやって来ました。滞在中のカナダからの2人の留学生を交えた日本、カナダ、中国、アメリカの4か国の若者が集い、国際的なパーティが100人の参加者を得て開催されました。「身は石狩にあっても、目を世界に放つ」という

2004年にはワニノ市を訪問し、ナターリア協会長(写真右端)に中島潔氏の絵をプレゼントしました!



とは、大変嬉しく、とても有意義なことでした。こういう活発な状況が存在できるのは、石狩市の理解と支援多くのボランティアの献身的な活動、ホームステイを提供し国際交流に貢献しているご家庭、元気活発な役員のご指導、法

12月16日(土)に、樽川中学校でイングリッシュデイを開催しました。市内の中学生を対象に「話せるのは英語だけ」というルールで、町や留学生とキャンダル作り、宝探し、おやつ作り、クリスマスソングに挑戦しました。日本語を話す、シールを顔に貼られてしまうペナルティがあったのですが、外国人スタッフ

Christmas English Day

「チョコバナナサンドイッチを作ったよ!」

12月16日(土)に、樽川中学校でイングリッシュデイを開催しました。市内の中学生を対象に「話せるのは英語だけ」というルールで、町や留学生とキャンダル作り、宝探し、おやつ作り、クリスマスソングに挑戦しました。日本語を話す、シールを顔に貼られてしまうペナルティがあったのですが、外国人スタッフ

私たちの方が間違えて日本語を使ってしまうという、おもしろい場面もありました。初めは戸惑い気味の生徒たちも、時間が経つにつれ、知っている英語を駆使して会話をしようと頑張っていました。来年は1泊2日のキャンプを予定しています。

日本語を使ってシールを3つも貼られちゃったけど、おいしーい!

カナダから、赤のなかまたちがやってくる

—ヤングアンバサダー2007—

ホストファミリー、大募集!

姉妹都市のカナダ・キャンベルリバー市から少年少女親善訪問団(通称:ヤングアンバサダー)がやってきます。外国から来る小6~高1の子どもと、1週間一緒に過ごしながら「国際交流」してみませんか?

予定滞日程:平成19年3月20日(火)~3月26日(月)6泊7日

予定訪問人数:子ども30名(男10名 女20名) 引率者6名(男3名 女3名)

滞在内容:ホストファミリーとの自由行動、石狩市内見学、市民との交流会、ホームステイ先のお子さんと学校訪問、さよならパーティなど

募集家庭数:36家庭

協力:共催 石狩市(申請中) 後援 教育委員会(申請中)

申込み締切:平成19年1月19日(金)

お申込み方法:下記事務局までご連絡ください。

Welcom to Ishii

問合せ・お申込み先
NPO法人石狩国際交流協会事務局
石狩市花畑2条1丁目9-1北ガスプラザ2階
Eメールアドレス: iia@dream.con.ne.jp
TEL: 0133-64-5931



おやつ食べて「Say "Cheese"！」

高井：今日は集まってくれてありがとう。実は僕も留学生なんだ。平成元年の。

福田：えっ、私の生まれた年で？

高井：…。それだけ歴史が長いということだね。最近応募者が少ないようだけど、僕の頃は多くて、2年目でようやくいけたんだよ。ところで、留学してみようと思ったきっかけは？

本間：ヤングアンバサダーに参加したこと。親に「行ってみたら」っていわれて。

高井：他の2人もそうみたいだね。偶然3人も同じ年にヤングアンバサダーに参加したんだ！

本間：留学して、改めてこんなに自然が多かったんだとか、懐かしいやら、新鮮やらといった感じだったかな。

高井：カナダの女の子はみんな髪をくるくるにしてて大人っぽいよね。

福田：そんな人もいませんよ。

高井：カナダに着いてまずどんな感じだった？

福田：日本のように、全校生徒に留学生を紹介する場面がないんです。自分から留学生だと言わないと、誰も気付かず普通に話し掛けてくる。特別扱いされないのが、最初はあれっ？って感じでした。

高井：どんな授業をとってたの？

谷崎：体育、家庭科、アートなどです。僕が行っていた高校には日本語のクラスがあったので、アシスタントもしました。

福田：数学は、日本より遅れているので、成績はトップでしたよ！

高井：生徒の様子はどうだった？ 自立しているように感じるけど。

福田：小さな子も自分の意志をはっきり言います。成長しても自分のやりたいことを選んでやっていると気がする。

本間：帰ってきて、日本の学校生活は、まず受験のためって感じがしました。

高井：留学して何か変わった？

福田：細かいことが気にならなくなった。前は人に対してすごく気をつかっていたけど、いろんな人がいるということをもっとまっすぐ受け入れられるようになりました。

谷崎：何も変わらずにいられた。そういう自分を知って成長できた気がします。

高井：なるほど。そのほか日本との違いは感じた？

谷崎：日本はすごく長い歴史があるなあって思いました。

本間：カナダの夕食は肉と温めた野菜とポテト、お弁当はバターを塗ったサンドイッチが定番。いろんな食事を用意する日本のお母さんってすごい！

福田：日本はすごく便利で時間にもきっちりしているけど、ストレスや気疲れも多い。正反対だなんて思います。

高井：それでは、カナダの「イチオシ」を教えてください。

福田：学校です！ 留学生として特別扱いされないのが、慣れてくると居心地が良くて、自然体で過ごせます。

本間：タイムホトンのアイスカプチーノが最高！

谷崎：日本にはない小さな玉を投げるボウリング。あと、中華も日本食が恋しくなったりと意外とオススメです！

高井：最後に、留学してよかった？

福田：すごくよかった。私は日本で学年を下げたけど、言葉は通じるし、小さなことは気にしません。

本間：絶対行くべき。特に内気な人こそ！

谷崎：英語が話せて損はない。実は今年、大学の語学研修でカナダのホームステイを経験したんですけど、ただの「部屋貸し」という感じでした。それだと摩擦も無いけど、一番大事なコミュニケーションがありません。石狩の留学生って本当に恵まれているんだなと実感しました！

3人：石狩にいるならチャンスを生かした方がいい。知らない人がいるのはもったいない！

高井：学校生活はどうだった？

本間：授業はすべて選択で、自分の教室がないんです。最初は友達がいなかったから、ランチも一人ぼっち。それがつらかったです。

谷崎：俺、ポテトだけだった…。

本間：え、私のとこ、お肉だけだったよな…。

高井：そうそう。クリスマス前に「突然」って良く聞くよね。カナダのクリスマスはどうだった？

福田：すごく楽しかった。ハーブやスパイスを語めた七面鳥、美味しかったな。

本間：え、私のとこ、お肉だけだったよな…。

谷崎：俺、ポテトだけだった…。

高井：学校生活はどうだった？

本間：授業はすべて選択で、自分の教室がないんです。最初は友達がいなかったから、ランチも一人ぼっち。それがつらかったです。

谷崎：俺、ポテトだけだった…。

本間：え、私のとこ、お肉だけだったよな…。

高井：そうそう。クリスマス前に「突然」って良く聞くよね。カナダのクリスマスはどうだった？

福田：すごく楽しかった。ハーブやスパイスを語めた七面鳥、美味しかったな。

本間：え、私のとこ、お肉だけだったよな…。

谷崎：俺、ポテトだけだった…。

“はーとふる”Winter

12月、事務所の窓から見える外はすっかり冬。どのおうちの窓根にも真っ白な雪がのっかっています。眩しく輝いていた夏があっという間に過ぎ、静かな美りの秋も終わって、長い冬を迎えます。そんな寒い季節がからこそ感じられる“はーとふる”なこと、ありませんか？

温かいインチュウやスープの美味しさが増し、ツルツルで危い足元からふと視線を外し、見上げる空の高さにほんのひととき開放感を感じることもあるのではないのでしょうか。そして時には、少し前の写真をひっくり返しながら、当時の友人や仲間と持参したマイ・カップ (My Cup) で熱い紅茶やコーヒーと思い出話を楽しんでいるのもいいかもしれません。

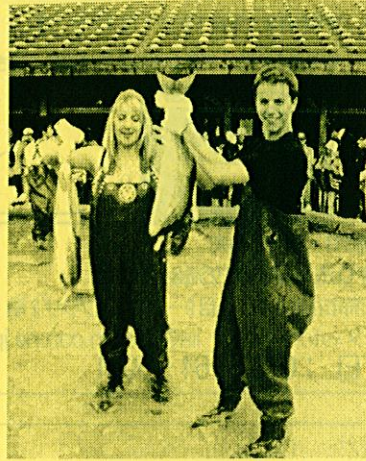
“はーとふる”Activities reports >>



留学生>>さけまつり

鮭のつかみどり、御神輿、ふんどし…”初めて”ばかり

はじめは怖がっていたニコールも「お母さん(ホストファミリー)に持って帰る！」とはりきっていたマシューもみごとメスの鮭をゲット！ その日のうちに「チャンチャン焼き」にしてホストファミリーで完食しました。



高井：今日は集まってくれてありがとう。実は僕も留学生なんだ。平成元年の。

福田：えっ、私の生まれた年で？

高井：…。それだけ歴史が長いということだね。最近応募者が少ないようだけど、僕の頃は多くて、2年目でようやくいけたんだよ。ところで、留学してみようと思ったきっかけは？

本間：ヤングアンバサダーに参加したこと。親に「行ってみたら」っていわれて。

高井：他の2人もそうみたいだね。偶然3人も同じ年にヤングアンバサダーに参加したんだ！

本間：留学して、改めてこんなに自然が多かったんだとか、懐かしいやら、新鮮やらといった感じだったかな。

高井：カナダの女の子はみんな髪をくるくるにしてて大人っぽいよね。

福田：そんな人もいませんよ。

高井：カナダに着いてまずどんな感じだった？

福田：日本のように、全校生徒に留学生を紹介する場面がないんです。自分から留学生だと言わないと、誰も気付かず普通に話し掛けてくる。特別扱いされないのが、最初はあれっ？って感じでした。

高井：どんな授業をとってたの？

谷崎：体育、家庭科、アートなどです。僕が行っていた高校には日本語のクラスがあったので、アシスタントもしました。

福田：数学は、日本より遅れているので、成績はトップでしたよ！

高井：生徒の様子はどうだった？ 自立しているように感じるけど。

福田：小さな子も自分の意志をはっきり言います。成長しても自分のやりたいことを選んでやっていると気がする。

本間：帰ってきて、日本の学校生活は、まず受験のためって感じがしました。

高井史朗：1989年度留学生 (もうオッサン) 谷崎洋介：2002年度留学生



福田紗和：2005年度留学生 本間詩織：2004年度留学生

高井：学校生活はどうだった？

本間：授業はすべて選択で、自分の教室がないんです。最初は友達がいなかったから、ランチも一人ぼっち。それがつらかったです。

谷崎：俺、ポテトだけだった…。

本間：え、私のとこ、お肉だけだったよな…。

高井：そうそう。クリスマス前に「突然」って良く聞くよね。カナダのクリスマスはどうだった？

福田：すごく楽しかった。ハーブやスパイスを語めた七面鳥、美味しかったな。

本間：え、私のとこ、お肉だけだったよな…。

谷崎：俺、ポテトだけだった…。

高井：学校生活はどうだった？

本間：授業はすべて選択で、自分の教室がないんです。最初は友達がいなかったから、ランチも一人ぼっち。それがつらかったです。

谷崎：俺、ポテトだけだった…。

本間：え、私のとこ、お肉だけだったよな…。

高井：そうそう。クリスマス前に「突然」って良く聞くよね。カナダのクリスマスはどうだった？

福田：すごく楽しかった。ハーブやスパイスを語めた七面鳥、美味しかったな。

本間：え、私のとこ、お肉だけだったよな…。

谷崎：俺、ポテトだけだった…。

留学のススメ

キャンベルリバーと石狩町が姉妹都市になった1983年に始まった交換留学生制度。これまで海を渡った高校生は82人にのぼります。多いときは、20人の中から選ばれた年もありましたが、今年の応募はたったの一人。この状況に、高井広報部長がその魅力を伝えようと、最近の留学生にインタビューしてみました。

8月～12月までのI.I.A.活動報告です。5ヶ月があっという間に過ぎてしまいました。皆さんは、夏から秋そして冬に向けて、いかがお過ごしでしたでしょうか。

地域>>Halloween Party

11月5日(日) 緑苑台小学校

新任の英語指導助手ジェミー(写真)&アマンダさん主催のハロウィンパーティを会員さんと一緒に開催。子どもたちの作ったジャックオランタン(かぼちゃのランタン)は、北コミまへの植樹帯に並べられ、道行く人の目を楽ませてくれました。

地域>>みどりの広場

11月18日(土) 緑苑台小学校

会員拡大とI.I.A.の独自活動の広報を目的にパネル展示、小学生や保護者の皆さんに、ヤングアンバサダーを中心に活動をPR。

収益事業>>さけまつり出店

9月16日・17日(土日) 弁天会館前

秋晴れの中2日間わたり事業部会を中心に売店を出し、おでん、うどん、そばなどを販売しました。交換留学生とホストファミリー、会員ボランティアさんたちの「いらっしゃいませ!」という呼び込みが功を奏して、売上は2日間で35,000円! 歴代留学生や会員の方もお客さまとして足を運んでくれました。皆さんありがとうございました!!